

第二仙台北部中核工業団地 松の平3丁目地区の再造成について

県では、富県宮城の実現に向けて製造業の誘致に積極的に取り組み、トヨタ自動車東日本株式会社、東京エレクトロン宮城株式会社等の大型立地を実現し、多くの企業の立地が進みました。一方で、今後提案可能な用地が少なくなっておりまいりましたので、第二仙台北部中核工業団地内にある松の平地区の再造成を行います。

1 第二仙台北部中核工業団地の概要

○所在地：大衡村

○分譲面積：約150ha（分譲済み：117.8ha／分譲可能：約62.5ha）

（うち今回造成する未造成部分の松の平3丁目地区：約30ha）

○概要：平成9年に開発を開始し、平成13年に分譲開始。平成19年にセントラル自動車株式会社（現：トヨタ自動車東日本株式会社）の宮城県への移転が決定して以降、自動車関連産業をはじめとした製造業の立地が大きく進んでいる。

○分譲状況：別紙参照

2 松の平3丁目地区の開発概要

○開発面積：約45ha（現況：山林/原野等）

○分譲面積：約30ha

○造成理由：これまでは、企業の要望に応じて造成工事を行い引き渡す、いわゆる「オーダーメイド用地」として提案していたが、昨今の立地企業は、立地決定から操業開始までの“リードタイム”を重視する傾向が高いため、松の平3丁目地区を予め造成しておく（レディーメイド）こととしたもの。

○開発主体：宮城県土地開発公社

○開発費用：28億円程度

○分譲開始時期：令和7年4月頃（予定）